授業科目名・形態	社会保障論Ⅱ　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	平林朋子	実務経験の有無	有	開講期	2 年後期
科目ナンバリング	W3-2003cspR				

【授業の主題】

本講義では、日本における最も重要な社会制度の 1 つである「社会保障制度」について学んでいく。本学が養成する社会福祉分野の専門職には必須の知識であり、その構造を理解し、諸制度を理解することは仕事をする上での義務である。後期では社会保険の仕組みを理解し、その上に作られている諸制度についても理解ができることを主眼とし、さらに諸外国の現状についての学習を行う。

【到達目標】

1.社会保険の概念と構造を理解する。
2.社会保障を構成する制度を理解する。
3.諸外国の社会保障制度を理解する。

【授業計画・内容】

第 1 回　　オリエンテーション　前期講義振り返り
第 2 回　　保険と扶助の考え方
第 3 回　　社会保険と社会扶助の考え方　社会保険と民間保険の現状
第 4 回　　社会手当
第 5 回　　年金制度の概要①
第 6 回　　年金制度の概要②
第 7 回　　年金制度の概要③　ゲストスピーカー
第 8 回　　年金制度の概要④
第 9 回　　生活保護の概要①
第 10 回　生活保護の概要②
第 11 回　社会保障の財政　社会保障給付費・内訳・動向
第 12 回　国民負担率　社会保障と経済
第 13 回　諸外国の社会保障
第 14 回　社会保障の国際比較
第 15 回　社会保障の国際化　まとめ

【授業実施方法】

講義形式とする。7 回目に年金事務所職員の方による講義を予定。講義の最後に「リアクションペーパー」を作成し、提出する。

【事前・事後学習】

・教科書の講義内容に関する部分を読み、不明点を調べる等、事前学習を 2 時間以上行うこと。
・講義内容を踏まえ、復習・考えの整理を毎回 2 時間以上行うこと。

【主な関連する科目】

「社会福祉概論Ⅰ」「社会福祉概論Ⅱ」「「貧困に対する支援」

【教科書等】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『社会保障』中央法規、2025 年

【参考文献】

講義内で都度紹介する。

【成績評価方法】

筆記試験　80%　リアクションペーパー　15%　講義への取り組み　5%

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

医療ソーシャルワーカーとして医療の現場で働いてきた経験を通して、福祉・医療の現場を支える根幹としての社会保障制度について、現実にどの様に動いているのかを伝えていく。

【学生へのメッセージ】

社会保障制度は、私たちがこの国で生活をしていく上で最も重要な制度の一つです。福祉・医療の現場では必須の知識と言えます。基本的な構造と仕組みを理解することで、私たちが実際に使う各種の社会サービスの仕組みが理解しやすくなります。難しそうに見えますが、構造はシンプルです。一緒に学んでいきましょう。